



第96回渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和7年10月7日（火）午後7時00分～
会場：渋川ほっとプラザ 4階大会議室

講演 「市町村が実施するオーラルフレイル対策
渋川市・榛東村・吉岡町のとりくみ」

講師 ①渋川市介護保険課 保健師 中川 有希 氏
②榛東村地域包括支援センター 保健師 笹澤 悦子 氏
③吉岡町介護高齢室 保健師 樺澤 文子 氏

参加者内訳

職種	計
医師	3
歯科医師	7
薬剤師	1
保健師・看護師	14
歯科衛生士	5
ST・OT・PT	9
管理栄養士・栄養士	5
ケアマネ	9
介護職員	6
その他	4
合計人数	63

今回は渋川地区の市町村で実施しているオーラルフレイル対策について、各市町村の保健師の皆様にご講演いただきました。いつどこで誰が行っているのか？内容は？対象者はどのような人？効果は？知っているようで知らない、市町村事業の詳細を話していただきました。

市町村の取り組み詳細の前に、何の法律に基づいた事業なのか、説明していただきました。市町村のオーラルフレイル対策は、「介護予防・日常生活支援総合事業」の一環として実施されています。介護保険法で定められている事業であり、介護や状態の悪化を予防するために、また地域で自立した生活を送れるように、各市町村で実情に合わせて取り組むとのこと。地域の支えあいの場にもなっているそうですよ。

渋川市



事業の参加者の統計をとり分析。参加回数の多い人ほど、オーラルフレイルが少ない傾向とのこと。他者と交流することも、フレイル予防の一助となっているそうです。

榛東村



通いの場では、介護予防サポーターだけでなく、ボランティアの参加も。オーラルフレイル対策に限らず、事業は多職種の協力・連携なくしては成り立たないとのこと。

吉岡町



3市町村で、高齢化率の最も低い吉岡町。徐々に介護予防サポーターも増えてきているとのこと。介護予防サポーター養成講座の様子も話してくださいました。

最後は久しぶりの「ずう～っと食べ体操」。この体操は、渋川市・榛東村・吉岡町でも介護予防として行っています。美味しく安全に食べるために、そして楽しく継続できるように構成されています。体操のお手本はインターネットでも公開されていますので、ぜひ参考にしてみてくださいね。



【次回 第97回渋川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：12月2日（火）午後7時～／渋川ほっとプラザ 4階大会議室

演題：「嚥下内視鏡って何？ 嚥下内視鏡の基礎知識」（仮）

講師：群馬大学大学院医学系研究科

リハビリテーション医学分野 助教 伊部 洋子 氏